

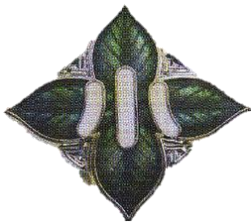
○長野市立青木島小学校○

(HP: <http://www.nagano-ngn.ed.jp/aokijjs/>)

〔沿革〕 今から 146 年前の明治 7 年、長徳寺に「知達学校」・丹生寺に「明衷学校」ができる。この二つの学校が青木島小の基となる。明治 25 年この二つの学校が合併し「大塚尋常小学校」となり、明治 31 年には現在の青木島小学校の場所に移る。戦後、昭和 22 年青木島村・大塚村・綱島村が合併して青木島村ができ、新しい教育制度の下「青木島村立青木島小学校」となる。そして「更北村立青木島小学校」を経て、昭和 41 年「長野市立青木島小学校」となって現在に至る。

青木島小学校は平成 25 年に南校舎が木をたくさん使った新校舎となり、現在の校舎配置になりました。校舎内外に子どもたちの意欲的に学び、遊ぶ声が響いています。

今年度の目指す子どもの姿は「自分の力をさらに伸ばしていく子ども」です。そのために「主体性の追求」「多様性に向き合う」「つながる・広がる学校」を重点に、日々の教育活動に取り組んでいます。クラブ講師・学習ボランティアなど多くの地域の方にご協力いただくと共に、総合的な学習の時間の活動や生活科、社会科での地域探検などで、積極的に地域に出て学ぶ活動を大切にしています。



〔校章〕 常緑樹である「あおき」の葉 4 枚は、丹波島・青木島・大塚・綱島の 4 地区を表し、「あおき」のように枯れることなく生き生きと常に発展することを象徴したものです。(昭和 30 年に制定)

〔学校規模〕 児童数 635 人/学級数:25 学級/職員数:44 名 (R5. 6. 22 現在)

学校目標「天 賦 の 能 力 の 開 花」

児童の合言葉「あおきじま」

あ 明るいあいさつ



「あ」—「明るい挨拶」

- ・挨拶で心を開き、相手を思いやる子ども。
- ・挨拶を通して地域の一員であることを自覚する子ども。

き きれいな歌声



「お」—「お掃除すみずみ」

- ・校舎内外の美化をはかり、自分の役割を果たそうとする子ども。
- ・社会奉仕について考え、実践につなげる子ども。



お お掃除すみずみ

「き」—「きれいな歌声」

- ・歌を通して心と体をひらく心地よさを味わう子ども。
- ・他者との響きを楽しむ心地よさを味わう子ども。

ま 毎日続けよう



「じ」—「自分から進んで」

- ・自分から進んで「児童の合言葉」を実践できる子ども。



じ 自分から進んで

「ま」—「毎日続けよう」

- ・こつこつと毎日続けることができる子ども。